

公園を活かした地域コミュニティ活性化事業

【目的】

新たな住宅地形成に伴う、交流空間や子供や高齢者の居場所の不足という課題に対応するため、多世代が集い交流できる空間・安全で見通しのよい利用環境を有する公園を整備し、交流と見守りの拠点となる地域づくりを目指す。

【概要】

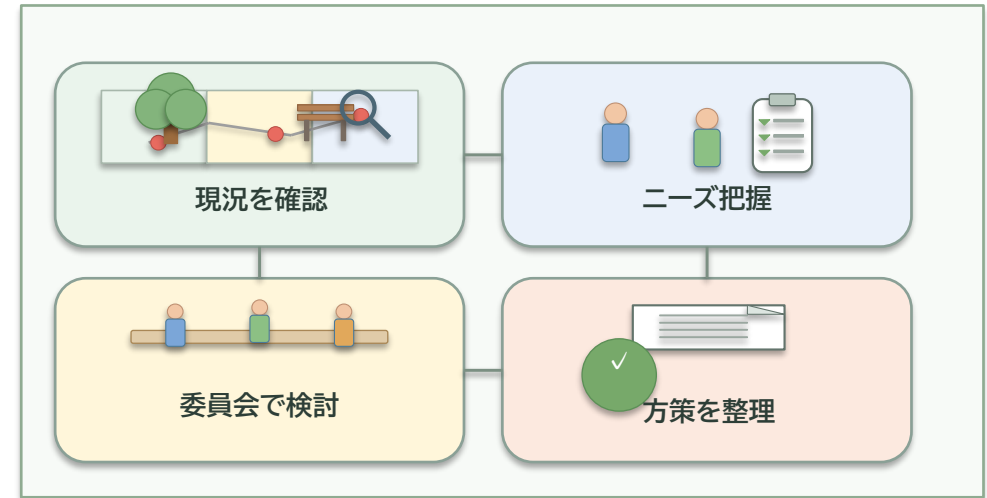
- 1 平成26年度及び令和6年度のワークショップ結果を踏まえ、(仮称)白子三丁目第1号公園を地域の交流・見守り・多世代利用の拠点として整備する。(6,700万円)
- 2 市管理の市内公園全体の活用を整理するとともに、公園利用を促進する方策の報告書を作成する。(500万円)

1 (仮称)白子3丁目1号公園第1期整備工事(6,700万円)



- ベンチや小さい子供も遊べるよう小型複合遊具等を設置し、多様な利活用を促進する
- 歩行に不安のある高齢者や子どもの安全にも配慮し、足元が滑りにくく衝撃を和らげるゴムチップ舗装を行う。

2 市内公園利活用基礎調査(500万円)



- 市管理の市内公園を有効に利活用するための調査
- 検討委員会を立ち上げ、公園利用を促進する利活用の方策を検討し、整理する
- 検討内容を活かし、令和9年度以降の公園利活用促進事業につなげていく

要望額：2,400万円(総事業費：7,200万円)補助率：1/3